

大浪池登山

趣 旨 霧島連山10湖23座の内の一つ大浪池(1,412m)周辺の自然の観察を通して、自然と人間とのかかわりを大切にする心情を培い、自然に対する畏敬の念を育てる機会とする。

日程例

09:00 霧島自然ふれあいセンター発 ※ 荒天時は、えびのエコミュージアムセンターや
 09:25 大浪池登山口着(トイレ) ビジターセンター等の近隣施設の見学も可能です。
 09:35 大浪池登山口発
 10:20 大浪池展望所着・休憩
 10:35 大浪池展望所発(東回り) ⇨ 展望所から折り返し、登山口へ帰るコースもあります。(往復約1.5時間)
 11:00 大浪池山頂
 11:25 大浪池韓国岳鞍部着・昼食
 12:00 大浪池韓国岳鞍部発
 12:45 大浪池展望所着・休憩
 12:55 大浪池展望所発
 13:30 大浪池登山口着
 14:15 霧島自然ふれあいセンター着

連 絡 荒天時の態度決定、登山開始時及び終了時、緊急事態発生時に連絡

危険箇所 周回ルート上の火口壁、大浪池山頂付近及び鞍部付近に張ってあるロープを越えない。

無線交信可能地点 ※ 鞍部からは、えびの高原付近への交信可能
 登山口から大浪池展望所、大浪池展望所から鞍部入口まで、西側火口上部展望所

留意事項 (1) 引率指導者の指示を守る。
 (2) 常に班で行動し、単独行動をしない。
 (3) 体力に応じたペースで歩行し、適宜休憩をとる。
 (4) 危険区域及び火口壁に近づかない。
 (5) 落石を起こさない。
 (6) 緊急事態が発生したら、直ちに近くの引率指導者に連絡する。
 (7) 自然を大切にする。
 (8) ゴミはすべて持ち帰る。

季節による見所等

<眺望, 観察ポイント>

- ・ 展望所付近からの大浪池と韓国岳の眺望。桜島・錦江湾方面の眺望、大浪池山頂からの新燃岳及び高千穂峰方向への眺望。鞍部から大浪池展望所までの大浪池や韓国岳及びえびの高原、栗野岳方向の眺望。
- 春：登山口の周辺や鞍部付近の野鳥(エナガ・ゴジュウカラ・ヤマガラ・ウグイス・アオゲラ等)、周回ルート周辺の花(マンサク・ヤブツバキ・フクジュソウ・アオモジ・ハルリンドウ・キリシマミズキ・ミツバツツジ・ミヤマキリシマ等)
- 夏：登山口の周辺・鞍部付近の野鳥(ヤマガラ・ホトトギス・カッコウ・ブッポウソウ等)、花(シロドウダン・スイカズラ・ナツツバキ・ネジキ・ヒメシャラ・ノリウツギ等)
- 秋：火口周辺の紅葉(ヤマウルシ・ツタウルシ・コハウチワカエデ・ナナカマド・ミズナラ)、シカの鳴き声、動物の食事跡や排泄物(フン)
- 冬：雪に残された動物の足跡、動物の食事跡や排泄物(フン)、野鳥(マガモ・カルガモ・キンクロハジロ等)

歴史等 約5万年前の噴火で生まれ、水面は1,239mの高さにあり、全国で最も標高の高い火口湖である。この湖の名前の由来として、その昔、「おなみ」という少女が湖面に飛び込み、龍に変化したという伝説があるが、風が強いと湖面に大波が立つので、大浪池と呼ばれたという説もある。蘭牟田池の外輪山「竜石伝説」との関わりもある。

大浪池登山コース



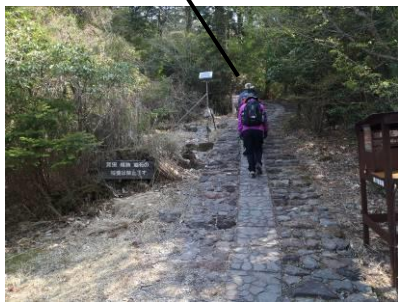
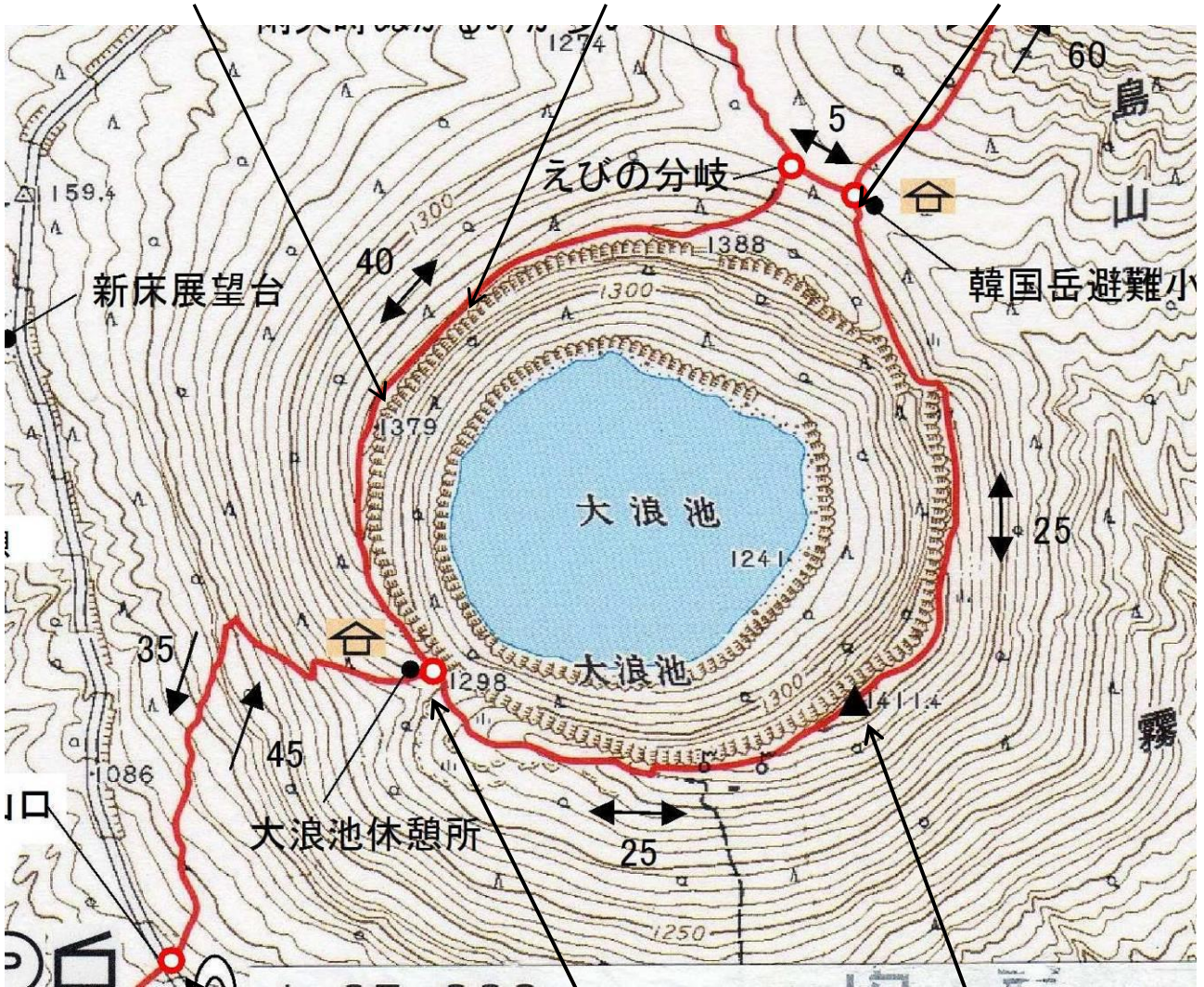
栗野岳方面を望む



細い歩道



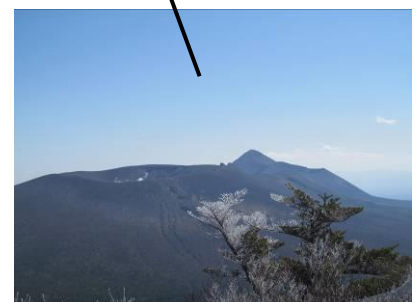
大浪池鞍部



大浪池登山口



大浪池展望所



大浪池山頂付近から新燃岳を望む